

# 提 案 概 要

(「北九州市立山田緑地」 指定管理者)

団体名：九州造園・グリーンワーク共同事業体

## 1 指定管理者としての適性について

### (1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

#### ●理念

「30世紀の森づくりを進める公園」をコンセプトとして豊かな自然の森を守りながら(保全)、生き物と人間が共に生きていくことを学び(共生)、次世代に繋いでいく(継承)管理運営を進めていきます。

#### ●コンセプトテーマ

人と自然を結ぶ保全、共生、継承の森づくり

#### ●基本方針

##### ①自然環境の保護・保全と次世代への継承

保護区域(守るゾーン)、保全区域(維持するゾーン)、利用区域(育成するゾーン)の機能分担と効果的な管理運営を進めます。

##### ②生態系ネットワークの中核拠点としての展開

各種プログラムの実施により、市民が自然を知り、自然と触れ合う機会を創出します。

##### ③市民の自然環境教育に関する情報収集・発信

北九州市内の様々な環境施設と協働事業や情報発信を行います。

##### ④緑の基本計画、生物多様性戦略の遂行

上位計画の位置づけを理解し管理運営を進めていきます。

##### ⑤美しい景観を活かした快適環境の創出

かつての山田村で営まれていた里地里山的な生活の場や美しい景観を創出していきます。

##### ⑥都市に近接した緑豊かなレクリエーション空間の創造

環境型イベントの他、レクリエーションとしてのスポーツやコンサートなど多くの市民が利用出来る場としていきます。

##### ⑦NPO法人や企業などとの協働

NPO法人や企業、市民団体、ボランティア、北九州市などと管理運営を協働で実施していきます。

##### ⑧生態系に配慮した維持管理

生き物調査を実施し、生き物の生態系に配慮した維持管理を行っていきます。

## (2) 安定的な人的基盤や財政基盤

### ●株式会社九州造園

昭和 32 年に造園工事業として創業。北九州市を中心として造園の施工業務を行なっています。北九州市、国土交通省、福岡県などからの請負工事により安定した財政基盤があります。

### ●NPO法人グリーンワーク

平成 16 年に設立。会員 20 名、協力会社 7 社。北九州市との協働事業を進めています。北九州市からの委託事業などの安定した財政基盤があります。

## (3) 実績や経験など

### ●株式会社九州造園

北九州市、国土交通省などの公園施工、公園維持管理業務の実績と経験が数多くあります。山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から行なっています。

### ●NPO法人グリーンワーク

「緑豊かなまちづくりの推進」をミッションとし、北九州市との協働事業の経験や実績があります。山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から行なっています。

## 2 管理運営計画の適確性

### 【有効性】に関する取組み

#### (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

##### ●政策支援を図るための取組み

北九州市との共同でパルパーク・プロジェクトを進めていきます。  
焚き火ゾーン、親水ゾーン、岩登りゾーンなどを中心として、企画運営整備を行っていきます。

##### ●豊かな自然環境を環境学習、研究の場として活用

###### ①環境学習プログラムの企画実施

もりの観察会、バードウォッチング、昆虫講座、へび講座、自然ガイドウォーク、夜の生き物観察会、ホタル探検隊など生き物をテーマとしたプログラムを実施していきます。

###### ②山田緑地生き物調査

植物、哺乳類、鳥類、昆虫類、両生類・爬虫類、魚類などの生き物調査を専門家、大学、ボランティアと共に実施し、データを取りまとめます。

###### ③大学や高校などの環境教育の取組みを支援

小学校の校外授業や大学のフィールドワークなどの環境教育の場を提供していきます。

##### ●里地里山的な利用により、自然と共存する生活のあり方を提案

みつばちプロジェクト、パルパークプロジェクト、菜の花プロジェクト、工作教室などを定期的実施します。

●市民や他団体との連携による管理、運営、イベントの実施

- ①北九州市ほたる館と連携して山田緑地内でホタルの調査、研究を進めていきます。
- ②九州電力と協働で森を楽しむイベント「プレイフォレスト」を進めます。
- ③ボランティアと協働し、観察会の運営、樹名札の設置、竹林整備など森の維持管理を行います。
- ④「山田の森フェスタ」や「やまだんマルシェ」などの大型イベントを実施します。

●区域に応じた特性のある維持管理の実施

- ①30 世紀の森づくりを目標とし区域ごとにメリハリのある施設植栽管理を行います。
- ②カスミサンショウウオやカヤネズミなど山田の森に住む生き物の生態系に配慮した維持管理を行います。
- ③アライグマなど外来生物の駆除を実施します。

●施設展示物の充実と情報発信の機能強化

- ①森の家展示ホール内の展示施設の充実を図ります。
- ②常設展示の他、企画展示や特別展示を積極的に行います。

●山田緑地とほたる館の有機的な連携の実施

- ①ほたる館と連携して「夜のホタル探検隊」を実施します。
- ②ほたる館と協働で山田緑地内小熊野川のゲンジボタルやカワニナの調査、研究を進めます。

(2) 利用者の満足度

●利用者の満足度目標

平成 35 年度の利用者アンケート満足度を 96%とします。

●来園者が身近な情報と触れ合うことのできる親しみある環境を提供します。

- ①来園者の目線で応える接客を実施します。 ②パンフレットの見直しを行います。
- ③図書コーナーの充実を図ります。 ④アンケート調査の実施と改善案の策定を行ないます。
- ⑤クレーム対応を徹底します。 ⑥ホームページ等の充実を図ります。
- ⑦レンタルグッズを準備します。 ⑧門松や春の七草など季節を感じる飾りつけを行います。
- ⑨キッチンカーによる販売を行います。

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

●以下の目標による管理運営を実行します。

【目 標(数値目標)】

単位：千円

項目	3 1 年度	3 2 年度	3 3 年度	3 4 年度	3 5 年度
管理運営費	61, 499	61, 529	61, 559	61, 589	61, 619
利用料収入	6, 399	6, 429	6, 459	6, 489	6. 519
指定管理料	55, 100	55, 100	55, 100	55, 100	55, 100

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

●経費低減、収入増加に向けた創意工夫を行ないます。

- ①管理履歴に基づく効果的・効率的な管理水準設定します。
- ②緊急性・優先度を考慮した経費の効果的・効率的執行します。 ③エネルギー削減を実施します。

## 【適正性】に関する取組み

### (1) 管理運営体制など

#### ●管理運営体制

スタッフは所長含め経験豊かな6名と施設園地管理スタッフ2名の合計8名とします。

スタッフには業務に必要な基本的技術や専門的技術を深める様々な教育を行います。スタッフの教育は基本的なものは日常業務を通じて行い、専門的なものは外部研修等を行います。

### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

#### ●平等利用

私達は、正当な理由がない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体を優先することのないようにすることを徹底し、子どもから成人、高齢者、障害者がそれぞれの目的で公園が利用できるよう管理運営を行なっていきます。

- ①来園者への丁寧な対応を行ないます。
- ②偏りない配慮で対応します。
- ③検証と研修を行ないます。

#### ●安全対策

公園利用者に対する安全衛生対策としてハザードマップによる危険個所の表示およびアナウンスやパトロール

時の注意を行ないます。臨時的な維持管理作業等の場所については、利用者が中に立ち入らないよう囲いや進入禁止等の処置をとります。

- ①施設利用者に対する安全衛生対策として危険箇所の表示を行ないます。
- ②イベントや事業において知り得る利用者の個人情報適切で安全な管理を行います。
- ③館内の安産点検や施設の防犯、防災対策を徹底します。
- ④避難訓練や消火器の実射訓練など緊急時の対応に備えた訓練を実施していきます。

#### ●危機管理体制

本公園は、来園者が自然を十分に満喫できるように自然地形をそのままに利用した施設であるため、利用時における事故や災害が考えられます。速やかに対処できる体制づくりを行います。

対策本部は管理委員会として(株)九州造園本社に置きます。

提案額(千円)

3 1 年度	55,100 千円
3 2 年度	55,100 千円
3 3 年度	55,100 千円
3 4 年度	55,100 千円
3 5 年度	55,100 千円